

立正地理学会ホームページにも掲載しております。新 URL は以下の通りです。
今後、新たな情報がある際には、ホームページにてご案内いたします。

<https://www.rismap.website/>

学会ニュースNo.127 トピックス

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ・2019年度秋季例会のご案内(含講演会) | ・2019年度(第118回)臨地研究会のご案内 |
| ・第117回臨地研究会(東京都渋谷区)報告 | ・会費納入のお願い |

会告

○2019 年度秋季例会のご案内 (含講演会)

日 時 : 11 月 30 日 (土) 13 時 30 分 ~ 16 時 45 分

場 所 : 大阪産業大学サテライトキャンパス

大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第 3 ビル 19 階

テーマ : 変貌する大阪 - その過去・現在・未来

主旨説明 : 原 将也 (立正大学助教)

基調講演 : 「大阪の地理的位置とその歴史的展開・地域的特性」

高山正樹氏 (大阪大学名誉教授)

パネリスト報告 :

「キタとミナミにおける若者の街の変容 - 茶屋町周辺とアメリカ村周辺を例に -」吉本 勇 (就実大学教授)

「再生古民家を活用した飲食店群による地域活性化 - 大阪市城東区蒲生四丁目の事例 -」石原 肇 (大阪産業大学教授)

「世界のニューチャイナタウンと西成中華街構想」山下清海 (立正大学教授)

パネルディスカッション :

司会 : 原美登里 (立正大学准教授)

☆秋季例会後の 17 時 15 分より大阪駅前第 3 ビル地下で懇親会を予定しています。

参加費 : 4,500 円程度、懇親会に参加される方は、秋季例会申し込みとともに、懇親会参加の旨を明記して下さい。締め切りは 11 月 15 日必着です。メールアドレスは下記の通りです。石原 肇会員 (ishihara@est.osaka-sandai.ac.jp)



アクセス

JR「大阪駅」より徒歩約 5 分

JR「北新地駅」より徒歩約 4 分

阪急「梅田駅」より徒歩約 9 分

阪神「梅田駅」より徒歩約 4 分

地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約 5 分

地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約 5 分

(高層用エレベーターをご利用ください。)

○2019 年度（第 118 回）臨地研究会のご案内

日 時：12月1日（日）9時～17時00分（予定）

テーマ：「大阪の魅力・再発見」

案内者：吉本 勇（就実大学）・石原 肇（大阪産業大学）・
原美登里（立正大学）

コース（予定）：御堂筋線心齋橋駅南北改札 大丸百貨店北館地下1階集合（9時）
→アメリカ村→道頓堀→法善寺横丁→なんば駅前→道具屋筋→日本橋
→黒門市場→新世界（昼食）→飛田新地→天王寺あべのハルカス
→梅田・大阪駅解散（17時） 懇親会

巡検参加費・募集人員：500円（資料代・保険代として）・20名

※参加者は予め大阪メトロ1日乗車券「エンジョイエコカード」（600円）を
購入して参加してください（最寄りのお阪メトロの駅で購入してください）。

巡検後懇親会参加費：4,500円程度

☆臨地研究会と巡検後懇親会の申込

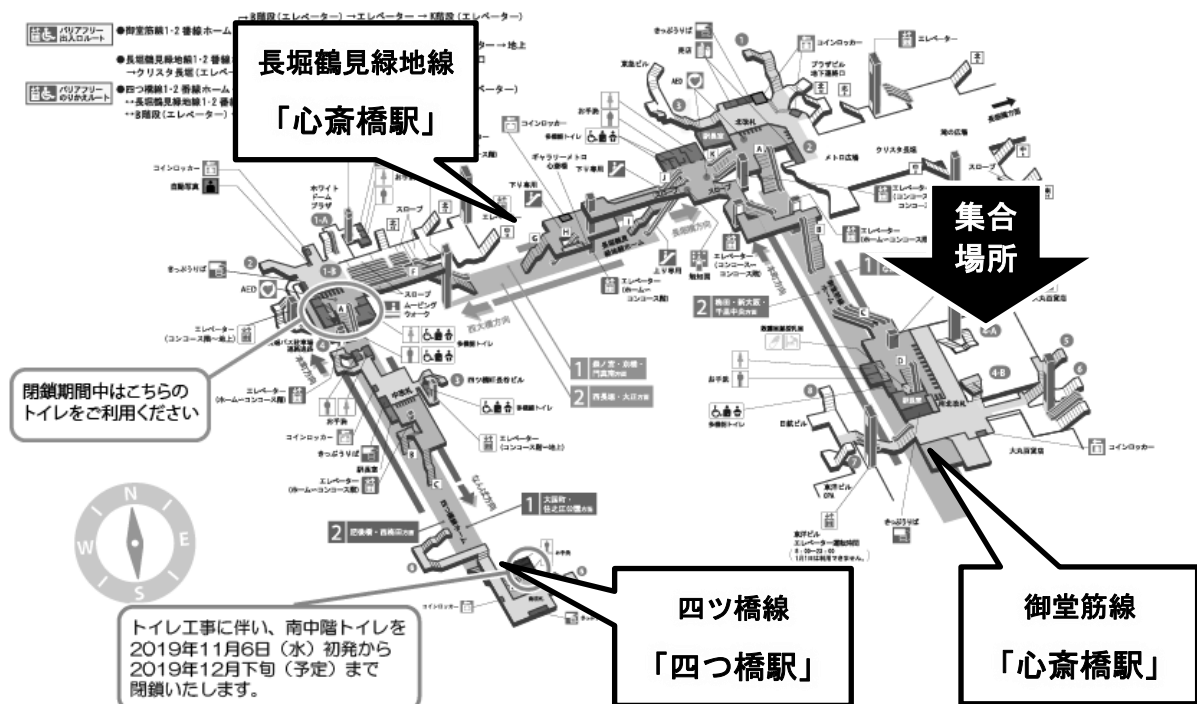
1) 巡検に参加を希望する会員は、参加者氏名、住所、電話番号、メールアドレス、生年月日、性別、所属を明記し、メールにて下記まで申し込んでください。個人情報情報は案内者からの連絡、保険加入のために使用させていただきます。締め切りは11月15日必着です。メールアドレスは下記の通りです。

石原 肇会員（ishihara@est.osaka-sandai.ac.jp）

2) 懇親会に参加される方は、上記の巡検申し込みとともに、懇親会参加の旨を明記して下さい。

☆災害等により開催が困難な場合の対応

自然災害またはその他のやむを得ない理由によって臨地研究会の開催が困難な場合は、案内者からの連絡でお知らせいたします。



○第 117 回臨地研究会(東京都渋谷区)報告

2018年12月2日(日)、横畠康吉会員、吉本勇会員、松井秀郎会員、原啓介会員、小田巻滋会員、大塚昌利会員の案内により、第117回臨地研究会が東京都渋谷区において行われた。テーマは「渋谷は変わる」、参加者は24名であった。

当日は、渋谷ヒカリエ11階スカイロビーに集合し、変わりゆく渋谷の姿を展望した後、徒歩で宮益御嶽神社へと向かった。境内では宮益御嶽神社の由来や経緯、宮益坂周辺地域についての説明が、吉本会員よりなされた。宮益御嶽神社からは宮益坂を抜け、青山学院大学の向かいにある国連大学本部前へと向かった。ここでは日曜市が開催されており、農産物や農産加工品、雑貨品などが販売され、多くの人でにぎわいを見せていた。こどもの城跡地横を抜け、TBSハウジングまで向かい、この周辺が都電車庫であったとの説明がなされた。

その後、穩田神社から、渋谷川を埋め立てたキャットストリート、東京陸軍刑務所跡横を通り、東急本店に向かった。各地では、過去の地図や写真などを用い、変わりゆく渋谷の姿の説明がなされた。昼食休憩の後には、神泉駅、道玄坂、百軒店商店街へと向かった。渋谷駅を挟んだ東西の地域差および文化的な差を確認した後、渋谷駅南西部の再開発地区へと向かった。地域一帯が道路も含め再開発されていく姿を見学し、渋谷駅南東部側に抜けた。南東部側はすでに再開発を終えており、東急東横線高架跡地にストリームラインが完成している。この2つの比較をしながら、渋谷駅へと戻り、巡検は終了した。

今回の臨地研究会では、渋谷地域の再開発事業に着目することで、地域の新陳代謝や田中啓爾先生の提唱した地理的現象を改めて感じる事ができた。詳細な資料をご用意いただき、ご案内頂いた6名の会員には厚くお礼申し上げます。

(岩谷恭弥会員)



第117回臨地研究会の様子(小田巻滋会員撮影)

○会費納入のお願い

2019年度分の会費が未納の方には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

編集後記

厳しい暑さが続いた熊谷キャンパスでも虫の声がきこえ、秋の訪れを感じます。6月の立正地理学会では多くの方々に参加して頂き、またインタビューや原稿依頼のご協力を心より感謝申し上げます。秋季例会及び臨地研究会が大阪で開催されます。黒門市場や新世界で大阪名物を食しましょう。

(広報委員 原 美登里)

立正地理学会ニュース No.127

2019年10月25日発行 編集者 立正地理学会広報委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453